

くま♥️LOVE シビックプライド醸成計画



水本大智 井上舞乃 梶原悠愛

鶴田大陽 山本陽葉

(熊本県立大学 総合管理学部)

目次

- I はじめに
- II 球磨村における現状把握
- III 先行研究
- IV 課題設定－課題解決の方向性－
- V 政策提案
- VI 期待される効果
- VII おわりに
- VIII 参考文献

球磨村



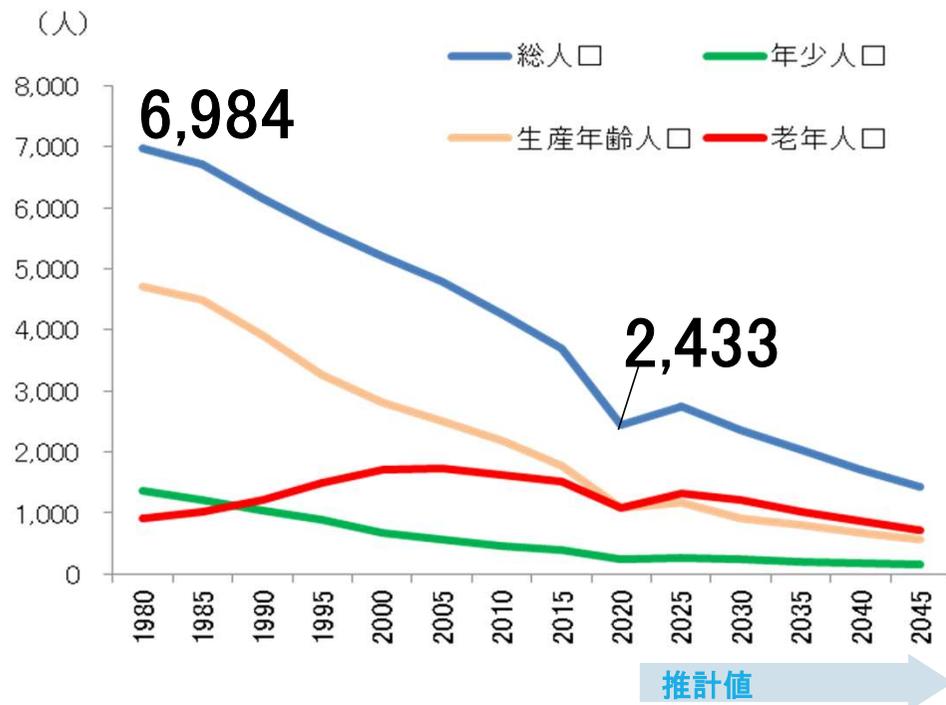
(画像出典)アーカイブくまむらHP

豊かな自然や美しい景色等の地域資源を有する球磨村であるが、住民の平均所得や住宅地下落率、人口の減少率等が全国的にもワーストになる経験をしている。

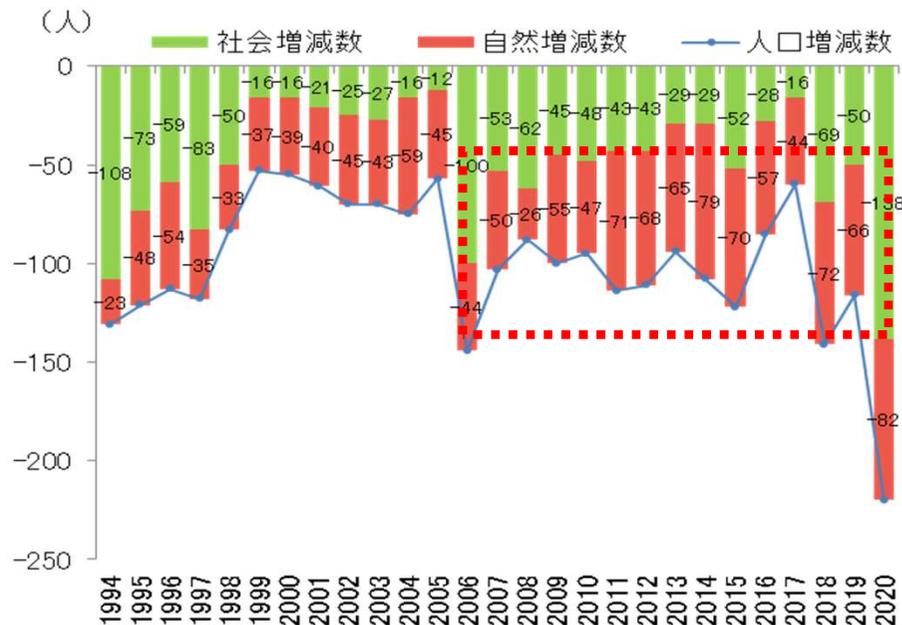
持続可能な村づくりへの取組み

球磨村における現状把握

図表1 人口推移



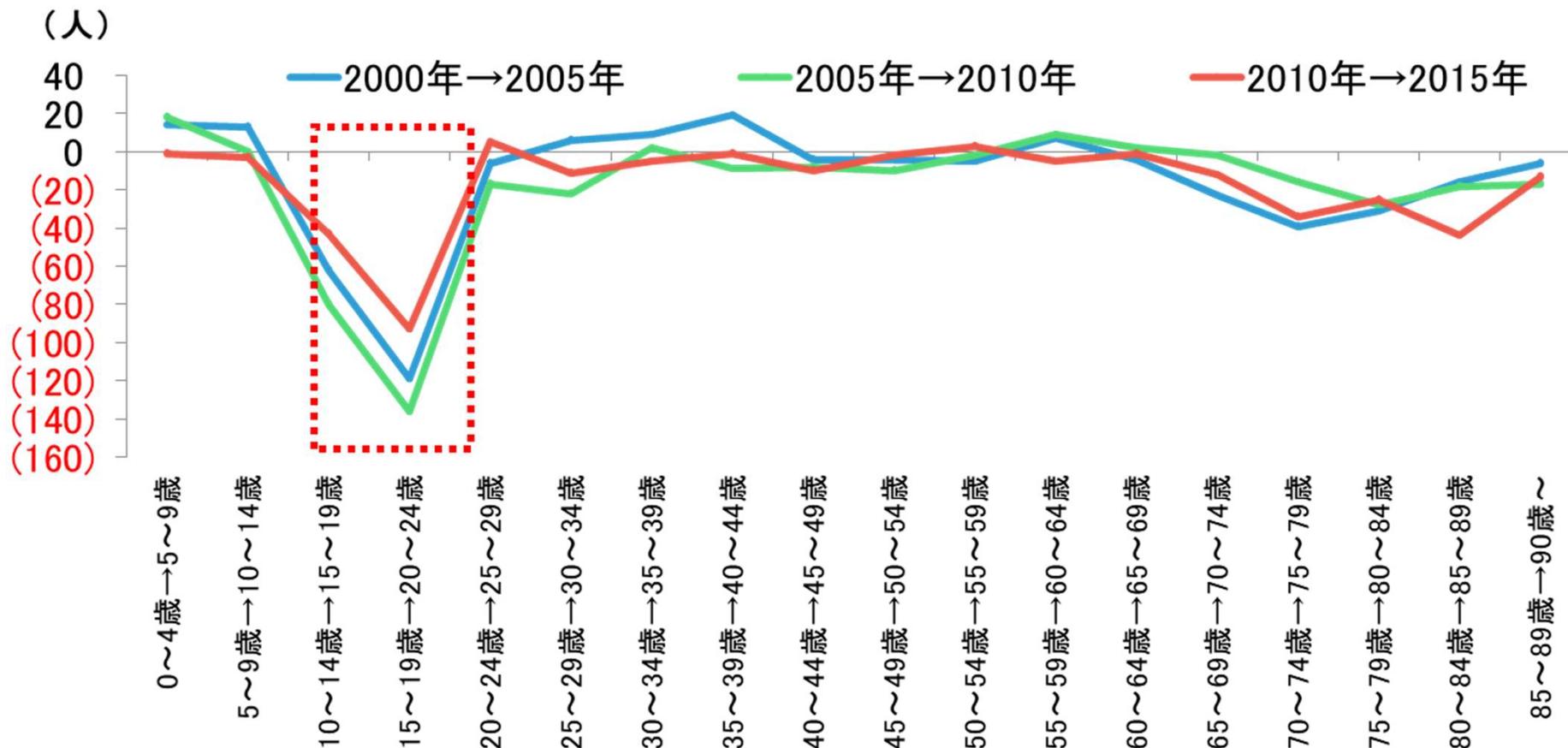
図表2 自然・社会増減の推移



(出典) 図表1、図表2ともにRESASサマリーサイトを参照

- ◎ **人口減少の傾向**が長期的に続いている。2020年は豪雨被害(令和2年7月)を受けて大きく減少している。
- ◎ 年々、自然減の数が増加しており、**少子高齢化の影響**が大きいことが読み取れる。

図表3 年齢階級別純移動数の時系列推移



(出典) RESASサマリーサイトを参照

◎15歳～29歳の**若者の村外流出が深刻**

◎進学や就職を契機に村外を出て、その後に村に戻る傾向は読み取れない。

問題構造

目指す村の姿

若者が村に残り(将来的に戻ってくる)、自分の生まれ育った球磨村で子育てをしたいと考えるような村づくり

ギャップ

現状

- ◎若者の村外流出
- ◎地元に戻ってこない

- 少子高齢化の加速
- 産業の担い手減少
- 地域経済の衰退
- 地域活力の低下など

多くの問題の発生

原因分析【球磨村の現状】

思い

村に残りたい
村に戻りたい

現実

良質な雇用機会の不足
社会インフラの不足
(病院、交通、商店など)
娯楽施設の不足

持続可能な村づくりのためには、中長期的な視点で、
村に対する思いを高めるような新たな取り組みが必要

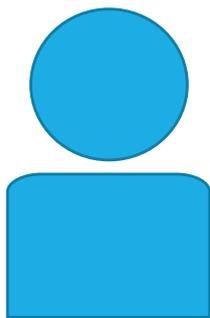
原因分析【住民の声】

中学生のうち**6割**が「球磨村から出たい」と回答

中学生のうち**4割**が「球磨村に住み続けたい」と回答

《住み続けたい理由》
⇒「村が好き」、「ふるさとだから」

球磨村復興計画 3-3 球磨村復興計画策定に伴う中学生アンケートの結果概要より



子どもの意見を反映させ、地域と学校が一体となった教育、社会のリーダーを育むような**球磨村ならではの魅力的な教育**を展開してほしい。

先行研究

(1)石盛(2004)は、地域への愛着が高い人は、地域での参加交流に積極的であり、その地域に住み続けたいという意志も強い傾向があると報告。

(2)鈴木・藤井(2008)は「『地域愛着』は人々の『地域』に対する態度や関与を牽引しうる心的要因であり、『地域』のあり方を考えていく上で重要な役割を果たすものと考えられる」と指摘。

(3)岩手銀行の関連機関は、県内に就職した新入社員の意識調査結果のなかで、就職先が県内を選んだ理由は「地元への愛着がある」が49.2%と最多となったことを公表した。

課題設定－課題解決の方向性－

- ◎球磨村を出る前の若者（15歳以下）の地域に対する愛着を、より高めるための手法を考察する。
- ◎単なる愛着ではなく、「地域を良くしていこうとする当事者意識に基づく自負心」を高めることを目的にしたものを考察する。

15歳以下の若者に密接にかかわる場面



教育プログラム

球磨村 シビックプライド醸成 計画

※シビックプライド(Civic Pride)とは、一般に都市などの市民を想定して使用される用語である。「**地域に対する住民の誇り**」のことであり、「自分自身が地域づくりに関わりながら、地域を良くしていこうとする、当事者意識に基づく自負心」のこと

教育プログラム

球磨村では小学校2校・中学校1校体制から、令和6年に義務教育学校へと再編される予定のため、小中学校の9年間の一貫教育の強みを活用して、「**総合的な探究の時間**」を活用したプログラムを考案

テーマ	該当学年	定義
むらを「知る」	小学3年	村の地域資源を知る
むらを「体験する」	小学4年	村の地域資源に触れる
むらを「体現する」	小学5年	村の地域資源を通してものづくりを行う
むらに「関与する」	小学6年	村の地域づくり活動に参加する
むらづくりを「理解する」	中学1年	村の人口や産業の現状を理解する
むらづくりに「参画する」	中学2年	村づくり活動に参画する
むらづくりで「自己実現をする」	中学3年	村づくりの課題に向けた政策を考える

※「シビックプライドを醸成するまちと市民の接点」(東京理科大学理工学部建築学科教授/伊藤香織)を参考にしながら、オリジナルでテーマを検討した。

プログラムの取組事例①

むらを「知る」

対象：小学3年生

村の地域資源・歴史について調べ学習を行い、地域住民に授業をしていただく

1学期：調べる

2学期：授業を受ける

3学期：まとめる・発表

むらを「体験する」

対象：小学4年生

村の地域資源について、実際に現地に行き、見学・体験する

(例) 球泉洞

梨農園

さんがうらでの

キャンプ

など

プログラムの取組事例②

むらを「体現する」

対象：小学5年生

村の地域資源を用いて、
体験活動を行う

（例）1年間で梨やいちご、
ブルーベリーなどを育て
る体験を行う、田植えや
稲刈りを体験する

むらに「関与する」

対象：小学6年生

村の地域づくり活動に参
加して、村のための活動
を行う

（例）地域の清掃活動を行
う、花を植えるなどの緑
化活動を行う

プログラムの取組事例③

むらづくりを 「理解する」

対象：中学1年生

村の人口や産業の現状についての調べ学習を行い、村づくりを行うための基礎知識を学ぶ

むらづくりに 「参画する」

対象：中学2年生

村の問題や課題について議論を行い、話し合う

(例) 学年全体で意見交換の場を設け、それらの意見を村の議会で発表する

むらづくりで「自己実現する」

対象：中学3年生

球磨村の未来のために当事者視点で村の課題解決の方策を考え、それらを発表する。

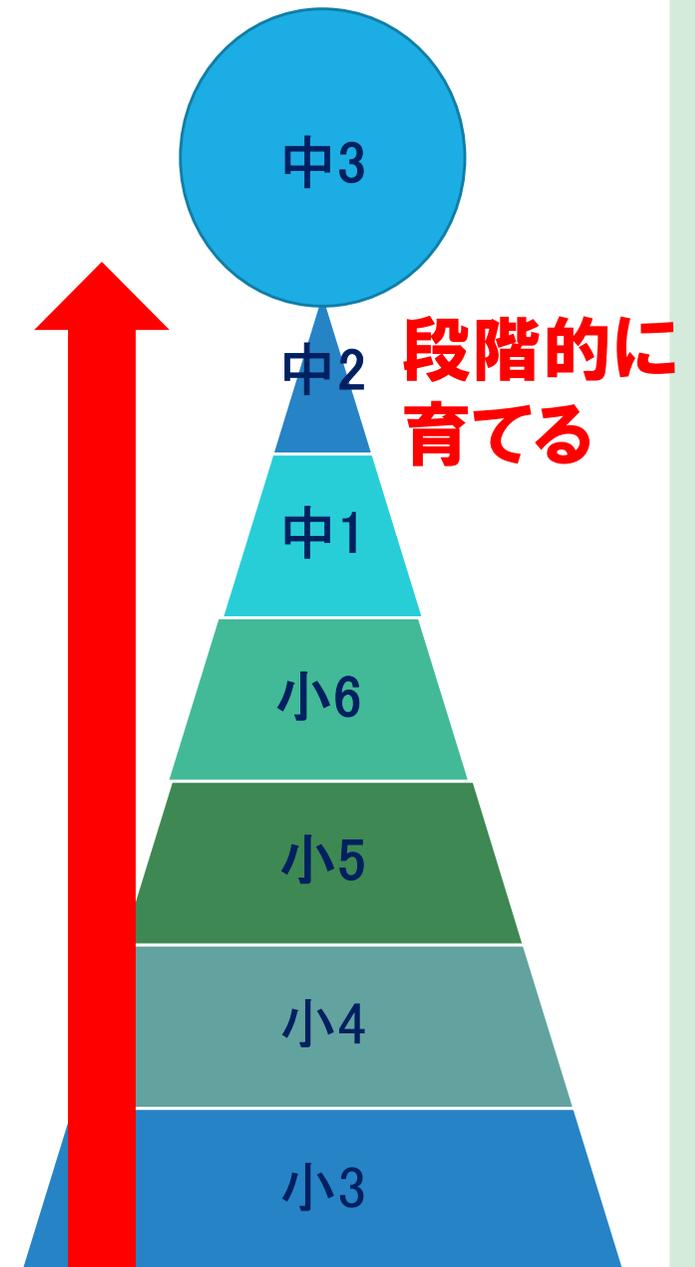
期待される効果

【直接的効果】

- ◎シビックプライドが強まり、当事者意識をもって球磨村の将来を考え、行動することができる若者が増える。
- ◎若者の地域をより良くしようとする行動で地域活力が高まる
- ◎若者の地元愛着が強まり、地元就職者が増える。
- ◎若者の課題解決力が高まる。

【間接的効果】

- ◎地域住民との交流の機会が増える。
- ◎球磨村で教育を受けさせたい子育て世代が増える。



おわりに

- ◎本提案は、**小中一貫の教育**という強みを生かしたものの
- ◎小中の連携方法を工夫することで、**幅広い地域**での実施が可能である
- ◎大規模な予算も必要ではないため、**実現可能性**も高いのではないか
- ◎時間をかけた事前の調整が必要(**密な連携や準備**)

参考文献

- 球磨村HP「球磨村小中学校再編基本計画」 (<https://www.kumamura.com/gyousei/wp-content/uploads/2022/08/ea4822e80ed647e1b8cc7bfa9673ca5b.pdf>)
- 「熊本県球磨郡球磨村森林サービス産業マッチングプラットフォーム地域の森からラブコール！」 (<https://forest-style.jp/bizmatch/area/002322.html>)
- 「若者の定住志向の背景にある地元愛の形成過程」 (https://www.jstage.jst.go.jp/article/aija/84/758/84_913/_pdf)
- 「シビックプライドを醸成するまちと市民の接点」 東京理科大学理工学部建築学科教授 伊藤 香織
- 広報くまむら2022年6月号
- RESAS「人口増減/人口推移」 (<https://resas.go.jp/capture-download/>)
- RESAS「人口増減/年代別」 (<https://resas.go.jp/capture-download/>)
- RESAS「将来人口変動における自然増減と社会増減の影響度」 (<https://resas.go.jp/capture-download/>)
- アーカイブくまむらHP (<https://www.archive-kumamura.com/know>)
- 石盛真徳 (2004) 「コミュニティ意識とまちづくりへの市民参加：コミュニティ意識尺度の開発を通じて」 『コミュニティ心理学研究』、7(2)、87-98頁
- 鈴木春菜、藤井聡 (2008) 「地域愛着が地域への協力行動に及ぼす影響に関する研究」 『土木計画学研究・論文集』、25(2)、357-362頁
- 岩手日報/県内ニュース/2022.07.13記事 「『地元への愛着がある』が最多 就職先に県内を選んだ理由」 (<https://www.iwate-np.co.jp/article/2022/7/13/120293>；2022.9.30参照)
- 伊藤香織(2019)「シビックプライドを醸成するまちと市民の接点（第3章第2節）」『住民がつくる「おしゃれなまち」ー近郊都市におけるシビックプライドの醸成ー』、89-100頁、公益財団法人日本都市センター・戸田市
- 球磨村復興計画 <https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/137001.pdf>